

## 主審のガイドライン(高校用)

2024年度版

東京都高体連サッカー専門部女子審判委員会

### 主審をする前に競技規則で任務については最低限確認 大会要項の試合時間、交代の人数、ベンチの人数など最低限確認

0. 各試合は、その試合に関して競技規則を施行する一切の権限を持つ主審によってコントロールされる

基本的に主審が最終判断をします。正しい判定をするために、審判チームの助言を受け、焦らずに正確な判定をしてください。

試合前の打ち合わせを確実にいき、副審と4thのサポートを試合中でも受けやすい体制を整えてください。

#### 1. 試合前

##### フィールドのチェック

フィールドにおかしいところがあれば、会場に依頼をして修正しましょう

##### ボールチェック

空気圧、外周など確認

##### メンバー表のチェック

審判手帳に正確に転記、スタッフの人数も確認

##### 審判員の用具

審判員は基本的には黒の審判服を用意してください

時計⇒できれば2つあると良い

イエローカード、レッドカード

コインス用のコイン

審判手帳と記録カード、ペン

##### 選手の用具チェック

選手の用具の不備や、危険なことはないか確認

#### 1. 主審の任務(試合中)

##### 競技規則を施行する

試合中の判定は競技規則に則って主審が判定してください。

ファールに関してはより良い角度と位置をキープして判定して下さい

際どい判定をするときは、プレーに巻き込まれないようにボールから10メートル位に近づき、副審と争点をはさんで説得力のある判定をしましょう。

##### その他の審判員と協力して試合をコントロールする

ボールがフィールドの外に出る、オフサイドなどは副審の協力で判定する

副審とアイコンタクトをとりながら指し間違いや、オフサイドの見逃しなど、起こらないように慌てずに判定してください。

##### タイムキーパー(飲水・クーリング、アディショナルタイムの管理含む)

アディショナルタイムは4thへ伝達、確認をし4thに表示してもらう

##### 試合の記録

交代選手の背番号と時間を記録

得点者と時間を記録  
警告・退場とその理由を記録  
その他報告が必要な事象については5W1Hを明確に記録し、審判報告書に記載 ※特殊な場合なので基本的には不要

#### 懲戒処置

必要に応じて、懲戒処置をとる(警告・退場の詳細は競技規則で確認)  
ベンチにいる関係者は4thやAR1などの助言をもらって対応をする  
審判報告書に理由を記載、1発退場に関しては裏面に詳細を記入

#### 負傷の対応

##### 負傷者が出た場合

負傷が軽い場合はプレーを続けて、次のアウトオブプレーで停止

負傷が重い場合はすぐにプレーをとめる

脳震盪の疑いがある場合は、どのようなチャンスでも停止

出血した場合は、止血が確認できるまでフィールドの外に出す

審判チームの誰かが止血を確認し、主審に伝えてフィールドに復帰させる

メディカルドクター、または担架が入った場合は、負傷した選手は一度フィールドの外に出す

#### 2. 判定について

選手やベンチにもわかるように、自信を持って判定をしてください

必要なときは、選手、ベンチ、本部とコミュニケーションをとりながら、試合を進めてください。

主審一人で慌てずに判断せず、副審や4thの判定も参考にし、必要な場合は他の審判員のところに行き、コミュニケーションをとって判定してください。

#### 3. 試合後

試合後に公式記録を確認し、サインする

得点者、交代、懲戒罰の確認

審判報告書を記入し、会場責任者へ提出

事実の漏れがないように

警告・退場の事由に関しては、競技規則の文言で記入してください。

#### 4. 次回への反省

審判員も試合を重ねることで、より良いジャッジへとつながります。

試合後に審判チームで判定や対応について簡単に振り返りましょう。

また必要があり可能であれば、審判委員会のスタッフや、試合を観戦していた本部の関係者と振り返ることで、主審からの見え方と異なる場合もあるので、参考にしてみましょう。

状況が許せば、チーム関係者との会話も参考になります。

審判員はファールや不正行為に関しては、適切な判定・対応をとり、選手のパフォーマンスを最大限引き出せるよう、競技規則の理解、体力・精神の準備を十分にしてください。

また、どのような試合でも同じように準備をし、臨むことで審判スキルは向上していきます。試合のレベルを見て、審判の取り組み方を変えることなく、審判員もベストパフォーマンスを出せるように日頃より準備をお願いします。